

D-01 絵言葉で話そう

講師 則武 輝彦 〈ノリタケ テルヒコ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース 准教授

科目 デザイン実技、視覚デザイン論Ⅰ 他

可能日 要相談

形式 実技・ワークショップ

講義内容

普段私たちは、当たり前のように文字や言葉を使いコミュニケーションをしますが、突然その文字や言葉がなくなったら、どのようなコミュニケーションが生まれるのでしょうか。みなさんには、文字や言葉を使わず絵文字で会話をしてもらいます。その体験から言葉や文字のなりたちについて考えてみましょう。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

3-4人のグループを作り、ゲーム形式で遊びながら学べます。

D-02 見ることの不思議

講師 則武 輝彦 〈ノリタケ テルヒコ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ヴィジュアルデザインコース 准教授

科目 デザイン実技、視覚デザイン論Ⅰ 他

可能日 要相談

形式 講義

講義内容

当たり前のようで不思議な視覚の世界を一つひとつ分解し、そこに潜む視覚の法則を解説します。またその法則を使ってデザイナーがどのようにコミュニケーションを生み出しているか、そのコツのようなものもお話しします。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

視覚効果をデザイナーがどのように利用しているのか事例とともに解説します。

D-03 イラストレーションと線の関係

講師 佐久間 友香 〈サクマ ユウカ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーションコース 講師

科目 デザイン実技、イラストレーション 他

可能日 要相談

形式 実技・ワークショップ

講義内容

魅力あるイラストレーションを構成する要素はいくつもありますが、線もその要素のひとつです。ディックブルーナの作品の線画模写を通じて、魅力ある線について学びます。

【必要機器】

プロジェクター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

ケント紙、水彩絵の具道具一式

【受講される方にひとこと】

イラストにおける線の重要性を体験してみてください。

D-04 2枚の写真で表現するインタラクティブな人物写真をつくってみよう

講師 竹内 創 〈タケウチ ハジメ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース 教授

科目 デザイン実技、デザイン概論、映像演習、デザイン実技Ⅲ、デザイン実技Ⅳ、デザイン実技Ⅱ-4、デザイン実技Ⅰ(F1)

可能日 水曜日

形式 実技・ワークショップ

講義内容

自分自身をモチーフにセルフポートレート写真を撮影し、受け手が楽しめるインタラクティブなコンテンツを制作します。

【必要機器】

i Pad、プロジェクターもしくは大型モニター（要相談）

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

筆記用具

【受講される方にひとこと】

受け手の立場から、発信する立場で表現することを考えてみましょう。

D-05 ストップモーション・アニメーションを作ろう

講師 臼井 拓朗 〈ウスイ タクロウ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ファンデーション/ メディアコミュニケーションデザインコース 准教授

科目 デザイン実技Ⅰ～Ⅳ、デザイン演習、卒業研究、絵画 他

可能日 要相談

形式 実技・ワークショップ

講義内容

映像表現の基礎から編集までをグループで協力しながら体験し、日頃から目に見える映像の仕組みを理解します。15分ほどの事前講義を行った上で制作することも可能です。

【必要機器】

プロジェクタ用スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

筆記用具

【受講される方にひとこと】

表現することを考えるきっかけになればと思います。

D-06 デザインの魅力

講師 萩原 周 〈ハギハラ マコト〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザインコース 教授

科目 デザイン実技II、デザイン演習II、卒業研究

可能日 月、土曜日

形式 講義

講義内容

デザインについての理解を深めるための90分程度の講義。デザインとアートの差異や、近現代までのデザインが歩んだ歴史的な経緯を画像を紹介しながらわかりやすく解説します。

【必要機器】

液晶プロジェクター、投影用スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

やや一般向けの内容ですが、デザインの辿ってきた大凡の道のりが優しく理解できるようにお話しします。

D-07 デザインの「デ」の字

講師 萩原 周 〈ハギハラ マコト〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザインコース 教授

科目 デザイン実技II、デザイン演習II、卒業研究

可能日 月、土曜日

形式 講義

講義内容

デザインの基本的な考え方（視点）を知る上でもっとも大切なことの一つとなる「多角的なものの見方」について、身近な道具の中からカッターナイフを例にとって解説します。

【必要機器】

液晶プロジェクター、投影用スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

デザインされたモノが、どんなに小さくてもその色やかたち、重さ、材質などが全て意図されてつくられていることがわかったら、見慣れた世界がまた新鮮に映るはずです。

D-08 プロダクトデザイン

講師 後藤 規文 〈ゴトウ ノリフミ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 インダストリアル&セラミックデザインコース 教授

科目 プロダクトデザイン、デザインプランニング

可能日 月、金曜日

形式 講義

講義内容

プロダクトデザイナーの役割について、具体的な事例を交えながら紹介し、ものづくりにデザインが必要とされる理由を解説しながら、プロダクトデザインの基礎について学びます。

【必要機器】

液晶プロジェクター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

「カッコいい形」だけがデザインではありません。

D-09 平面から立体へ

講師 米山 和子 〈ヨネヤマ ヨリコ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 メタル&ジュエリーデザインコース 教授

科目 デザイン実技 他

可能日 月曜日

形式 実技、ワークショップ

講義内容

基礎造形における視覚的効果を得る方法（構成の概念）は3次元のものを作る時にも応用できます。普段身近にある紙を切る、折る、曲げる事で立体を作り、空間を意識してバランス感覚のコツを体感しましょう。

【必要機器】

プロジェクター、紙工作等の作業環境

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

ハサミ、カッター、カッターマット、A4コピー用紙5〜10枚

【受講される方にひとこと】

立体や空間のセンスは誰でも伸ばす事が出来ます。

D-10 メダルアートの世界

講師 瀬田 哲司 〈セタ テツジ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 メタル&ジュエリーコース 准教授

科目 鑄造初級、金属技法材料

可能日 月曜日

形式 実物と資料による講義(持参するメダルは触っても良い)

講義内容

欧州の伝統芸術である「メダル」は手のひらサイズの立体造形として「メダルアート」に発展しています。メダルアートの国際的な賞を受賞し海外作家との交流も豊富な講師がメダルアートの最前線を紹介します。

【必要機器】

特になし

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

特になし

D-11 テキスタイルデザイン・ハンドプリント

講師 扇 千花 〈オオギ チカ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 テキスタイルデザインコース 教授

科目 デザイン実技 他

可能日 水曜日

形式 講義

講義内容

プリントは、絵柄を繰り返すことによって、布に模様を付ける方法です。模様のリピートをポテトプリントで学びます。

【必要機器】
机、流し

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
筆記道具、彫刻刀、絵の具、じゃがいも1個

【受講される方にひとこと】
テキスタイルデザインは布のデザインです。布は生活の中でなくてはならないものです。大きな布を部屋に掛けると瞬時に空間の印象が変わり、柔らかな布を身につけると安らかな気持ちになれるというように、テキスタイルは人の心に働きかけるデザインです。

D-12 絵画ヘラブレター

講師 村田 仁 〈ムラタ ジン〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授

科目 デザイン基礎演習E、文芸実技1-1 (小説創作) 絵本、児童文学制作、現代詩制作

可能日 (前期) 火・水曜日 (後期) 火・水曜日

形式 実技・ワークショップ

講義内容

好きな絵画作品に向けて、ラブレターとしての詩を綴るワークショップ。絵画から受ける「色」「物語」「私との関係」などを書き出し、詩作を行う。参加者が絵画に向けて詩を読む朗読会を最後に行ない、完成とします。

【必要機器】
プロジェクター、パソコン、スキャナー、デジカメ、マイク、音響機器、便箋

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
好きな絵画作品の画集、筆記具

【受講される方にひとこと】
画家ではなく、絵画へ綴るかたちで、知識ではなく感覚を言葉にしていくな創造の楽しさを目的としたワークショップです。

D-13 図書館の森で迷子を楽しむ

講師 村田 仁 〈ムラタ ジン〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 文芸・ライティングコース 准教授

科目 デザイン基礎演習E、文芸実技1-1 (小説創作) 絵本、児童文学制作、現代詩制作

可能日 (前期) 火・水曜日 (後期) 火・水曜日

形式 実技・ワークショップ

講義内容

学校の図書館を舞台に行う詩作ワークショップ。ルーレットで当たったジャンルの本棚に行くなど、普段は出会うことのない本に会う機会をつくり、言葉を引用し詩作します。最後は参加者が本を紹介しあい、詩を読みます。

【必要機器】
マイク、音響機器

【必要な環境】
図書館での開催

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
特になし

【受講される方にひとこと】
検索で情報にすぐたどり着くことができる現代ですが、迷子を経ることではか得ることのできないものもあるのではないのでしょうか。図書館は迷うことを許してくれる豊かさをもっているはず。詩作にある豊かさ、それと重なるものです。

D-14 作ることで考える

講師 加藤 良将 〈カトウ ヨシマサ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 先端メディア表現コース 講師

科目 コンピュータ表現基礎、情報メディア論、デザイン実技 他

可能日 火曜日

形式 実技、ワークショップ

講義内容

iPadと接続してセンサーやモーターなどのプログラミングにより制御できる機器を使い、世の中のものがどのように作られているのか、さらに便利に発展させるためにはどのような工夫ができるかを考え、実際に動くものを作り理解を深めます。

【必要機器】
プロジェクター、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
特になし

【受講される方にひとこと】
世の中の便利なものがどのような意図を持ってデザインされているか、周りのものをよく観察するように生活してみてください。

D-15 デザインで伝える「世界の見かた」

講師 小粥 千寿 〈オガイ チス〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 ライフスタイルデザインコース/メディアコミュニケーションデザインコース 准教授

科目 デザイン実技・デザイン演習・卒業制作

可能日 月曜日、土曜日

形式 講義

講義内容

1つの物事でも、視点や編集の仕方によって、異なるストーリーを伝えることができます。デザインを使ったビジュアル表現による多様な「世界の見かた」を、国内外の事例とともに紹介します。

【必要機器】
プロジェクター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
特になし

【受講される方にひとこと】
デザインが、複雑・多様化する世界を理解し、より良い社会を作っていくための道具となることを知ってもらえればと思います。

D-16 日々をデザインする

講師 田中 翔貴 〈タナカ ショウキ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 デザインファンデーション 講師

科目 デザイン実技I、アートプロジェクト2、写真演習(MCD)、デザイン実技II-3(MCD)

可能日 要相談

形式 実技・ワークショップ

講義内容

日々の生活の中で、みなさんが快適に過ごすためにはデザインが大きく関わっています。「デザインとは？」をテーマにした講義のあと、実際に日常をより良くするためのアイデアをグループワークで探ってもらいます。問題定義から問題解決に向けたデザインのプロセスを実際に体験します。

【必要機器】

プロジェクターもしくは大型モニター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
特になし

【受講される方にひとこと】
日常の中の小さな問題に目を向けて考えてみよう。

D-17 2輪車のデザイン

講師 田中 昭彦 〈タナカ アキヒコ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 カーデザインコース 教授

科目 デザイン領域演習、デザイン実技、デザインリテラシー、デザイン概論

可能日 水曜日

形式 対面・オンライン

講義内容

二輪車の発展の歴史。現在の世界の二輪車事情これからの可能性について。二輪デザインの特徴と魅力。

【必要機器】

プロジェクターもしくは、大型モニター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
特になし

【受講される方にひとこと】
エネルギー効率の良い2輪車は、SDG's視点からも脱炭素視点からも今後より活用されるべき乗り物です。小型の乗り物の楽しさを知ってみてください。

D-18 世界と日本のイラストレーションの歴史

講師 ナカノ ケン

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーションコース 准教授

科目 デザイン実技I-1、デザイン実技III-2、デザイン実技IV、卒業制作

可能日 月曜日・火曜日

形式 講義

講義内容

洞窟画や絵巻物からクリエイターズ・エコノミーまで、動画などを交え世界と日本のイラストレーションの歴史を紐解きます。各界で活躍しているイラストレーションコースの在学生や卒業生の作品も紹介します。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
特になし

【受講される方にひとこと】
特になし

D-19 物語の構造分析

講師 谷川 司 〈タニカワ ツカサ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーションコース 助教

科目 デザイン実技、デザインワークショップ、他

可能日 月曜日、要相談

形式 実技、ワークショップ

講義内容

物語がどのような構造を持ち、どのように感情を動かしているかを分析します。自身の好きな本（絵本、漫画等）を読み進めながら、どの部分で感情が上下しているかを理解して、その理由を分析していきます。

【必要機器】

プロジェクター、モニター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
自身の好きな絵本や漫画など…絵やイラストレーションを使って物語が構成されている本、ポストイット2色、必読「集英社 作:堀越耕平/僕のヒーローアカデミア 第一話」（説明で使用します。）

【受講される方にひとこと】
物語作りにも役に立つと思います。

D-20 空間デザイン

講師 西岡 毅 〈ニシオカ ツヨシ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 スペースデザインコース 講師

科目 デザイン実技（建築・インテリア）他

可能日 月曜日・土曜日

形式 実技ワークショップ

講義内容

空間デザインの基礎である、人が集まってそこでいろいろなことが起こるシーンを想像するということを、簡単な模型を作りながら、アイデアの出し方、拡げていき方、表現の仕方を学んでいきます。

【必要機器】

プロジェクター、模型制作環境

【受講者に事前に準備していただきたい内容】
模型制作道具（カッター・ノリ・カッターマット・サインペン）

【受講される方にひとこと】
日常をより楽しく生活するには?というような事を一緒に考えてみましょう。

D-21 デザインリサーチ

講師 服部 隼弥 〈ハットリ シュンヤ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 スペースデザインコース 講師

科目 デザイン実技（建築、インテリア） 他

可能日 月曜日・土曜日

形式 講義

講義内容

デザインの入り口であるリサーチワークにフォーカスします。身の回りの物事に改めて着目し多角的な視点で捉へ、新たなアイデア展開へと繋げるデザインならではの視点を学びます。

【必要機器】

プロジェクター、スクリーン

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

見慣れた場所や物、視点を変えるだけで新たな魅力に出会えます。デザインの醍醐味に触れるひと時を、皆さんで味わいましょう。

D-22 印刷を体験してみる

講師 片山 浩 〈カタヤマ ヒロシ〉

コース 芸術学部 芸術学科 デザイン領域 イラストレーション、ヴィジュアルデザイン 准教授

科目 デザイン実技III～IV (IL,VD)、美術実技III (石版画)、印刷論

可能日 要相談

形式 実技・ワークショップ

講義内容

印刷は現代社会においても重要なメディアですが、体験したことがある人は少ないかもしれません。もしあなたの学校にプレス機が眠っているのならそれを使って印刷体験をしてみましょう。

【必要機器】

版画用プレス機、ローラー、インクなど（設備は要相談）

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

スケッチブック、筆記用具

【受講される方にひとこと】

写し取ること、印刷することを楽しみましょう